

平成28年第1回竹原市総合教育会議 議事録

午後1時30分開会

1 日 時 平成28年10月27日(木)

午後2時10分閉会

2 場 所 竹原市役所 3階 第2委員会室

3 出席構成員 吉田市長, 竹下教育長, 梅田教育長職務代理者, 河埜内教育委員,  
浅野教育委員, 西野教育委員, 中秋教育委員

4 説明員 中川企画振興部長, 今榮福祉部長, 久重教育次長, 松崎企画政策課長,  
岡元教育振興課長, 九十九学校教育課長, 堀信文化生涯学習課長

5 協議事項

(1) 竹原市教育大綱重点的施策の主な取組内容について

(2) その他

○松崎課長           それでは定刻になりましたので、ただいまから、平成28年度第1回竹原市総合教育会議を開催いたします。初めに、開催に当りまして吉田市長から挨拶をお願いいたします。

○吉田市長           平成28年度第1回竹原市総合教育会議の開催にあたりまして、一言御挨拶を申し上げます。本日は、お忙しい中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。昨年11月16日に開催いたしました会議において、本市総合計画を基本に、竹原市教育大綱を策定いたしました。委員の皆様とは、教育行政に対する意見交換をさせていただき、非常に有意義な会議であったと思っております。本年度も引き続き、本会議を通じて、教育委員会と十分な協議や調整を行いながら、教育に関する方向性を共有することで、より一層の連携強化を図りたいと考えています。今回で3回目の会議開催となりますが、新制度に移行してから、初めての会議となります。本日は、竹原市教育大綱の進捗状況を事務局から説明し、委員の皆様と幅広く意見交換を行っていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

○松崎課長 次に竹下教育長お願いいたします。

○竹下教育長 竹原市長におかれましては、公私ともご多忙の中、総合教育会議を開催していただきまして委員一同心から御礼を申し上げます。また、日頃から本市の教育行政に対しまして多大な御支援をいただいておりますことに対しましても心から感謝を申し上げる次第でございます。

本市では、旧制度から平成28年6月21日に新制度に移行いたしまして、教育長としてまた新たな気持ちで取組みを精力的に行っていきたいと考えております。そして中秋委員さんに新たに加わっていただき、新しい体制の下、努力をしていきたいと考えております。また、新制度におきましては透明性を図る意味からも、総合教育会議はもとより、教育委員会会議の議事録をホームページで公開しているところで、市民の皆様に広く教育行政のあり方を知っていただきたいと思っております。

今後におきましても市長の御支援、御協力を十分に賜りながら教育行政を精力的に進めていきたいと委員一同思っております。今後ともよろしくお願いいたします。

○松崎課長 ありがとうございます。それでは資料の確認をいたします。お手元に配布をしておりますが、まず平成28年度第1回竹原市総合教育会議次第です。その次に席次表、竹原市教育大綱重点的施策の主な取組状況というA4の両面の1枚もの、平成28年度広島県「基礎・基本」定着状況調査結果のうち、小学校のものが1枚、中学校のものが1枚、平成28年度全国学力・学習状況調査結果が1枚、最後に昨年度策定いたしました竹原市教育大綱です。不足等ございませんでしょうか。

それでは、ここからの進行は、この会議での議長である市長をお願いいたします。

○吉田市長 それでは、昨年同様、私が議長として進行いたします。円滑な運営に御協力よろしく申し上げます。さっそくですが、協議事項に移らせていただきます。

次第にありますように、本日の協議事項は「(1) 竹原市教育大綱重点的施策の主な取組内容について」「(2) その他」の2つとなっております。

まず、(1) 竹原市教育大綱重点的施策の主な取組内容について協議に入ります。事務局より説明をお願いします。

#### ○九十九課長

竹原市教育大綱重点的施策の主な取組状況について、まずは学校教育課分について説明いたします。

学校教育の充実に関わり重点的施策として掲げている確かな学力の向上についてでございます。4項目の取組状況について説明いたします。

1点目の「広島版『学びの変革』アクションプラン」の推進についてです。県教育委員会が策定しております、「広島版『学びの変革』アクションプラン」に取り組むために、パイロット校として竹原小学校、実践指定校として吉名小学校、吉名中学校を中心に課題発見開発学習の単元開発や主体的な学びを促す授業づくりに取り組んでおります。また、全国学力学習状況調査や広島県基礎基本定着状況調査の結果分析に基づく授業改善にも取り組んでいます。資料といたしまして、平成28年度広島県「基礎・基本」定着状況調査結果と全国学力・学習状況調査結果を添付しております。小学校についてはほぼ全ての教科において広島県及び全国の平均を上回っておりますが、中学校においては特に数学、英語に課題が見られます。今後とも分析結果をもとにした指導方法等の改善計画を中心に取り組んでまいります。

2点目の特別支援教育の推進についてでございます。今年度竹原西小学校に通級指導教室が設置されました。これは、小中学校の通常の学校に在籍する軽度の障害がある児童生徒について、基本的には通常の学級で受けますが、障害の状態に応じた特別な指導を通級指導教室で行うという指導形態でございます。現在竹原西小学校の自校と他校の通級を含めて14名の児童が在籍しております。通級指導教室を含めて各校の特別支援コーディネーターを中心に、障害の状況等に応じたきめ細やかな指導の徹底を行

っていきます。

3点目はICT教育の推進についてです。昨年度導入しましたタブレット端末や電子黒板を活用しながら、各校の推進リーダーを中心に進めております。ICT支援員の支援、助言を受けながらICT機器を活用した効果的な指導方法について研究を重ねております。

最後に読書活動の推進についてでございます。今年度7月から読書活動推進員2名が全校を回り、学校図書館の整備や学習内容に関連する図書の紹介、授業支援などを行っております。今後とも読書活動の充実により、言葉を学び表現力を高め、想像力を豊かなものにするとともに、豊かな感性を育み人生をより深く生きる力を身に付ける活動を推進していきたいと考えております。

#### ○岡元課長

教育振興課からは重点的施策のうち、充実した教育環境づくりについて小中一貫教育の推進に係る吉名中学校区の整備事業の現状について報告をいたします。

吉名中学校区小中一貫校の平成30年4月の開校に向け、吉名中学校の施設整備工事を現在行っています。施設整備工事の間の吉名中学校の仮設校舎が必要となるため、吉名小学校の校舎の一部を改修しました。2学期から中学校生徒が小学校へ引越しをしまして、現在は小・中学生が同じ校舎の中で学校生活を送っています。学校からは円滑にスタートができているという報告を受けております。

中学校の施設整備工事の内容ですが、小中施設一体型の校舎になることから、既存校舎の増築、改修工事、屋内運動場、プールの改修、遊具の新設及びバックネット等の移設を行います。平成30年1月末を完成予定としておりまして、同年4月の開校に向けて、工事の円滑な進捗を図ってまいりたいと考えております。

#### ○今榮部長

②豊かな家庭づくりと青少年の育成に関して説明いたします。青少年教育に関する事業は、教育委員会の権限に属する事務を市長部局福祉部社会

福祉課において補助執行により事業を推進しております。

青少年の育成に関わる重点的施策につきましては2点ございます。家庭や地域の温かさを感じながら成長できるよう、家庭、地域、学校が一体となって家庭の教育力の向上や要保護児童への対応強化などに取組む、「青少年の健全育成の推進」と、青少年活動に関わる団体の育成や青少年活動の場確保充実などに取組む、「青少年が生き生きと活動できる環境づくり」です。

青少年活動に関わる団体の育成についてですが、青少年指導員研修会の開催でございます。青少年指導員については18名おりますが、学校外における青少年の問題行動が行われやすい場所の状況判断のために巡回指導を実施し、学校、警察署などとの連携を図っているもので、防犯に関する情報交換を目的とした研修会などを開催しております。

次に青少年育成竹原市民会議理事の研修会参加についてです。青少年育成竹原市民会議については市内19地区の地域、及び関係団体で構成されており、次代を担う青少年の健全育成を図るために地域内の巡回活動や各種事業の改善に取り組んでおります。会議の構成員の研修の機会としまして、国や県の青少年育成会議などが開催する研修会等に参加しまして、事業の推進に繋げております。

最後に子ども会育成連合会研修会及び子ども創作大会の開催についてでございます。子ども会育成連合会については市内67団体で構成し、子ども会組織の自立と円滑な運営の推進を図るために各種事業に取り組んでおります。子ども創作大会は、大会の企画運営について広島大学の学生に参加協力をいただき、手作りおもちゃ等の製作活動を通じた交流と親睦を深めることを目的に開催しております。近年参加する児童保護者も増加しています。これらの青少年活動の充実に向けた取組のほかに、家庭児童相談室による保護者や児童に関する個別のケースに応じた相談や保護措置等が必要な児童への対応のほか、青少年健全育成に関する啓蒙活動などにも取

り組んでおります。

○堀信課長

文化生涯学習課からは③生涯学習の推進④スポーツ・レクリエーションの振興⑤歴史文化の保存・継承・活用についてです。

その中の④スポーツ・レクリエーションの振興について説明いたします。豊かなスポーツライフの実現、スポーツ指導体制の確立、スポーツ・レクリエーションの場の整備・充実と有効活用に取り組み、だれもがスポーツ・レクリエーションに親しめるよう進めるというものでございます。その中の重点的施策として豊かなスポーツライフの実現という項目について、今年度実施している事業を説明いたします。

まず1つ目が各種体育大会の開催で、事業を列挙しています。特に市民体育大会は7月30日から10月10日まで実施し、個人として860人、団体として45チームで1,000人以上の方に参加していただきました。また10月23日に駅伝競走大会を実施しました。31チームの参加があり、約半数は市外からの参加団体でした。

次に青少年スポーツ育成事業です。7月23日に芸南学童水泳大会を実施し、小学生144人の参加がございました。今年は60回の記念大会ということで、ゲストとして2015年世界水泳選手権シンクロミックステュエット日本代表である安部篤志さんをお迎えし、演技等を見せていただきました。

次にその他ですが、11月13日に市内の小学生を対象としたトップアスリートスポーツ教室を開催予定としております。これはサンフレッチェのコーチを迎えたサッカー教室を実施予定です。

次に平成29年2月19日に実施予定のボールゲームフェスタです。これは主に小中学生を対象にトップアスリートがボールを使う運動の楽しさや技術を指導するというもので、今年度初めて実施予定です。一般社団法人日本トップリーグ連携機構と連携して実施いたします。今年度は全国35地域で実施されると聞いております。

- 吉田市長            それでは、御意見御質問がございましたらよろしくお願いいいたします。
- 浅野委員            吉名の小中一貫ですが、忠海学園の小中一貫教育を見ていると、非常にいい雰囲気運営できていますので、ぜひ進めていきたいと思ひます。
- 梅田教育長  
職務代理者            浅野委員が小中一貫について言われましたが、市長におかれましては給食センター、竹原小学校の体育館、忠海学園の校舎の改装、今回の吉名中学校等の施設整備に多額のお金をかけてくださることに感謝申し上げます。文科省や県は小中一貫教育、特に施設一体型を推進している状況ですし、各学校に行きましてもものびのびと教育を受けている様子が見て取れます。また吉名も2学期から小・中学生が同じ施設で教育を受けるようになりましたが、先生方に聞いてみると、小学生の心を思いやる中学生の姿を見受けられるようで、私たち教育委員も良い効果を実感しております。竹原中学校区、賀茂川中学校区においても連携等に取り組んでおりますので、今後資金的な面でお願い申し上げることもあるかと思ひます。その際は御協力よろしくお願ひします。
- 吉田市長            浅野委員から小中一貫について評価をいただき、ありがたく思っています。梅田委員からも経費的なことも含めて教育に対する幅広い意見をいただきました。予算についてですが、竹原市の施設の多くは老朽化しており、竹原小学校の体育館の改修等は当然のことだと思っておりました。また小中一貫について、忠海の場合は東小学校が複式学級であったことを懸念しておりました。吉名においても児童数の減少がございました。また、全国的に小中一貫を推進していこうという動きもありますし、学校には地域に活気をもたらす機能があると思ひます。委員の皆様のご意見もありますし、財政の問題もござひますが、できるだけことは今後もしていききたいと思っております。
- 吉田市長            それでは次に（2）その他について協議に入ります。教育委員の皆様と顔を合わせるせつかくの機会がござひますので、意見交換をしたいと思ひます。教育長、英語教育について、現状と今後の見通しはどのような状態で

すか。

○竹下教育長 英語教育につきましては、平成32年予定で英語が教科化するということで、現在の中学校1年生以上ではなく小学校5年生以上が教科として英語を学習します。竹原市教育委員会としても予算をいただいて、今年はALTを去年までの3名から4名に増やし、小学校での英語教育を充実させております。また、先生の資質を高めるということで、県教委も2年かけて英語指導力向上の研修を行いました。竹原市教委としても定例的に英語教育のリーダー研修を行っております。英語の教科化に向け、先生の資質向上と、人員配置の充実を行っております。また外国人、留学生、ALT等々を含めた子どもたちの英語合宿にも取り組もうと思っております。以前にも1回行いましたが、来年度も行う計画をしております。市長も英語教育の充実に非常に力をいれていただいております、私達も市長の意向を踏まえた取り組みを進めていこうと思っております。

○吉田市長 中学校の「基礎・基本」の定着状況の資料を見ると、竹原市の英語は少し低いのですか。

○竹下教育長 学校で言えば高い学校が多いのですが、低い学校もあるので平均するとこのようになっております。中学校の英語を高めるには、小学校の段階から慣れることが大事だと思います。

○吉田市長 英会話ができるようになってほしいです。小学校のときから英語に馴染むために、歌から入るという方法を聞いたことがあります、こういったことはされているのですか。習うより慣れろということが大切なのではないかなと思います。一番いいのは留学でしょうね。

○竹下教育長 小学校の担任やALTは歌等での取組を行っております。

○浅野委員 先ほど市長から、学校には地域に活気をもたらす機能があるという話がありましたが、少子高齢化という中で、国は高齢者を支える手段を、中学校区で考えていこうという地域包括ケアシステムというのがあります。その中で子どもたちにも地域の中の一員だという意識を持たせ、認知症の人

たちに対しての教育等を早めにするような仕組みができないでしょうか。例えば小学校、幼稚園、保育所へ出前講座に行くようなことができないでしょうか。幸いこの度、国が地域にあった教育方針を進めていますので提案させていただきたいと思います。

○竹下教育長 文科省から、次世代の学校ということでグローバル化を中心という方針があります。その中の4つの主題として、指導体制の確立、教職員の資質の向上、学校の組織力、そして地域とともにある学校とあります。竹原市はすでに高齢者と小中学生との交流行事を行っていますが、それを濃密的に行ったり、キャリア教育の中で中学校が行っています職場体験のような交流を増やしたり、組織的にしていきたいと思います。新しいことをするのではなく、既存のものを体系的にやっていけば、より効果が上がるのではないかなと思い、また、それを充実させていきたいと考えております。

○吉田市長 では、事務局から何か報告がございますか。

○事務局 ございません。

○吉田市長 以上で協議（2）を終わりたいと思います。協議事項は以上でございます。これをもちまして、平成28年第1回の総合教育会議を閉会したいと思います。ありがとうございました。

平成28年10月27日 午後2時10分閉会